

4 伝統や文化に関する教育の充実

学習指導要領においては、現代的な諸課題に関する教科等横断的な教育内容の一つとして、伝統や文化に関する教育が示され、児童生徒が、我が国や郷土が育んできた日本の伝統や文化について系統的に学ぶことが求められています。学校や地域の実態や、児童生徒の発達の段階を踏まえ、学校の特色を生かした教育課程を編成し、伝統や文化に関する教育の充実を図ることが大切です。

◆ ふるさと教育の充実

各学校においては、児童生徒に我が国や諸外国の伝統や文化を尊重しようとする態度や、豊かな心を持ち、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国の郷土を愛し、個性豊かな文化の創造を図ることができる力を育成するため、教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくことが求められています。

北海道教育推進計画においては、ふるさと教育の充実に向けて、自分たちの住む地域の豊かな自然環境や歴史、伝統、文化、産業等に理解を深め、郷土への誇りと愛着を育むことや、北海道の豊かで美しい大地は、先人が厳しい環境の中で、開拓したものであることについて理解を深めること、児童生徒の発達の段階に応じてアイヌの人たちの歴史・文化等について正しい理解を図ることなどが求められています。

各学校において、総合的な学習の時間に「ふるさと教育」を実施する際は、多様で幅広い学習活動を通して児童生徒一人一人の興味・関心に応じた学習が実現できるよう、地域の素材や学習環境を積極的に活用することが大切です。中でも、アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習の充実に向け、令和2年7月に開業した民族共生象徴空間「ウポポイ」を活用し、総合的な学習の時間において、情報の収集や整理・分析などを通して、地域の歴史・文化等と比較したり、社会科で学習したことと関連を図ったりする学習活動を展開することが考えられます。



【ウポポイで鑑賞できるムックリ演奏の様子】
(公財) アイヌ民族文化財団

「ウポポイ（民族共生象徴空間）
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK」
Web サイト



◆ 「ウポポイ」を活用した学習活動例

【事例1】 教科等横断的な視点を取り入れた実践

総合的な学習の時間において、社会科のアイヌの人たちの歴史・文化等に関わる学習と関連を図り、探究が深まる学習活動を展開します。

①事前学習

社会科において学習したアイヌの人たちの歴史・文化の中から、特に関心をもった内容を総合的な学習の時間で探究する課題として設定する。

②修学旅行での学習

「ウポポイ」の展示資料や職員の講話、職員への質問などから情報を収集し、それらを整理・分析して自分なりの意見や考えを深める。

③事後学習

学んだことを課題グループごとにプレゼンテーション資料としてまとめ、学級全体に発表する。

【事例2】 総合的な学習の時間における実践

児童生徒一人一人の課題について、「ウポポイ」の展示内容と関連を図ることで、課題解決に向けて、情報収集する目的を明確にし、児童生徒の探究しようとする意欲を高める学習活動を展開します。

①課題の設定

「ウポポイ」の展示内容と関連を図り、「ことば」「歴史」など6つのテーマについて、児童生徒一人一人が課題を設定する。

②情報の収集

「ウポポイ」を活用し、展示内容や職員への質問による情報を収集する。

③整理・分析

収集した情報を整理し、アイヌの人たちの歴史・文化等が自分たちの住む地域や今の暮らしとどのように関わっているか分析する。

④まとめ・表現

アイヌの人たちの歴史・文化等と自分たちの住む地域や今の暮らしとの関わりについてまとめ、交流する。